

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月23日

【評価実施概要】

事業所番号	3890700036		
法人名	NPO法人 アクティブボランティアセンター 阿蔵の森		
事業所名	グループホーム阿蔵の森		
所在地	大洲市阿蔵甲1961番地4 (電話) 0893-59-0777		
管理者	宮田 昭		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年12月19日	評価確定日	平成21年1月23日

【情報提供票より】 (平成20年12月8日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成19年2月10日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	12人, 非常勤 4人, 常勤換算 14.3人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 400円
	夕食	350円	おやつ 0円
	または1日当たり 1,050円		
(3)利用者の概要 (平成20年12月8日現在)			
利用者人数	18名	男性 3名	女性 15名
要介護1	7名	要介護2	3名
要介護3	4名	要介護4	3名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 87.2歳	最低 78歳	最高 95歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり (なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員が献立を立て、温かいものは温かくいただけるよう配慮されていた。季節の食材を使用し、しょうがやゆず、にんにく等を使って、おいしい食事作りの工夫をされていた。利用者は、配膳やテーブル拭きをされていた。メニューによっては肉を魚に替えることもある。
 職員は利用者から、料理のことや野菜の保存方法、戦争時、食べ物に苦労した時の話し等を教えていただくことがある。
 晩酌を楽しまれる方がいる。又、ラジオ体操をされたり、カラオケや歌を歌うことを楽しみにされている方もいる。居室に貼っていた自作の塗り絵を、中学生のボランティアの方にプレゼントされた方もいる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・事業所ではこの1年、地域と関係を作り、さらに今後もかわりを広げていきたいと話しておられた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価は、項目を分けて職員が分担して取り組まれ、管理者がまとめられた。管理者は、昨年取り組んだ際よりも、職員の記入が多かったと感想を述べておられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議時には、事業所での行事や利用者の状況について報告をされている。次回は、職員研修で学んだ「認知症の方の理解」について報告することも予定されていた。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・これまでに1回、事業所便り「森のたより」を発行された。電話やご家族の来訪時、ご本人の日々の様子を伝えておられる。ご家族の来訪時等に、ご本人の日々の様子を伝え、意見を聞いておられる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・小学校の運動会を見に行かれたり、保育園の園児が散歩途中に立ち寄ってくれたり、お遊戯を見せてくれることもある。又、中学生がボランティアに来てくれている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 阿蔵の森

(ユニット名) A

記入者(管理者)
氏名 宮田 昭

評価完了日 平成 20年 12月 08日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 「あたたかい手」「明るい笑顔」「やすらぎの空間」という理念の基に、利用者がいつも明るくやすらぎを感じていただけるように話し合っている。		
			(外部評価) 事業所では、開設時、利用者の満足を得られよう「あたたかい手」「明るい笑顔」「やすらぎの空間」という理念が作られている。		さらに、貴事業所が「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて示し、職員、ご家族、地域の方にも伝えていかれてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 玄関に入るとすぐ理念が分かるように掲示している。各フロアの食堂にも掲示している。		
			(外部評価) 理念を玄関や居間に掲示されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 広報誌で日々の暮らし、行事等を3ヶ月に1回はっこうしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩に出かけた時など挨拶を交わしている。近所の方がお茶を飲み来たり、小学生が遊びに来たりしている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運営推進会議を活用してホームの啓発活動を行い、公民館、小学校、他グループホームからイベント等の誘いを受けたりしている。 (外部評価) 小学校の運動会を見に行かれたり、保育園の園児が散歩途中に立ち寄ってくれたり、お遊戯を見せてくれることもある。又、中学生がボランティアに来てくれている。		事業所では、事業所近くの集会所で行われているサロンへの参加を検討されている。さらに、利用者が地域の方達とも交流しながら暮らしていけるよう、取組みをすすめていかれてほしい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ゴミ拾いのボランティア活動を年に何回か行くように計画中である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価を活かして今後につなげたい。 (外部評価) 自己評価は、項目を分けて職員が分担して取り組まれ、管理者がまとめられた。管理者は、昨年取り組んだ際よりも、職員の記入が多かったと感想を述べておられた。事業所ではこの1年、地域と関係を作り、さらに今後もかわりを拡げていきたいと話しておられた。		サービス評価の仕組みを活かして、職員それぞれの気付きを引き出していかれてはどうだろうか。又、質の向上に向けて、今後取組みたいこと等についても具体的に話し合い、年間を通して計画的に取り組んでいけることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			2ヶ月に1回行っている。		
			(外部評価)		
			会議時には、事業所での行事や利用者の状況について 報告をされている。次回は、職員研修で学んだ「認知 症の方の理解」について報告することも予定されてい た。		現在、地域の方やご家族の参加は少なめであり、今 後、参加者を増やしていきたいと考えておられる。 又、参加しやすい開催時間の検討や、いろいろな立場 の方に参加していただき意見をうかがう等、会議のす すめ方についても工夫を重ねていかれてほしい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			定期的に連絡会、勉強会が開かれ市町村と連携をとり 質の向上に努めている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議に参加いただき、会議のすすめ方等のア ドバイスをいただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			入居者の中で一人利用されていた。		勉強会等を開き学んでいきたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			市の職員に相談にのってもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分に説明し、納得された上で捺印、サインをもらっている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情があればミーティング等で話し合いを行い改善している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 定期的には行っていないが、家族への連絡ノートを作り、担当者が必要時に連絡、報告している。 (外部評価) これまでに1回、事業所便り「森のたより」を発行された。電話やご家族の来訪時、ご本人の日々の様子を伝えておられる。		さらに、ご家族それぞれの知りたい情報を知ることができるような報告の工夫が期待される。例えば、食事の内容や運営推進会議で話し合われたこと、又、写真等でも具体的に伝えていかれてほしい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情があれば、2ヶ月に1回の全体会で話し合いをし検討している。 (外部評価) ご家族の来訪時等に、ご本人の日々の様子を伝え、意見を聞いておられる。		現在は、ご家族からのご意見は聞かれないようであるが、「お世話になっているので言いにくい」というようなご家族の心情も踏まえ、意見引き出しの工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 週に1回、ミーティングを開き何かあったこと、気づいたことを話し合い働きやすい職場作りをしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に応じて対応している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 開設後、7月に異動したが入居者に負担がかからないように配慮した。 (外部評価) この一年間、職員の離職は少ない。職員のさらなる勉強のために、ユニット間で1名程度の異動は、今後も利用者の様子を見ながら行なっていくことを考えておられた。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 講習、講演会、勉強会に参加するようにしている。 (外部評価) 外部研修は、希望者と、又、管理者が職員個別に声をかけてすすめておられる。研修受講後は、毎月行うミーティング時に内容を報告されている。		管理者や職員は、「認知症の理解」をさらに深めていきたいと考えておられる。さらに、事業所でも年間を通して研修計画を立て職員が勉強する機会を作る等、職員のスキルアップから貴事業所のさらなるケアの質向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			2ヶ月に1回運営推進会議を実施している。他グループホームで行われている行事等にお誘いがあれば参加し交流を図っている。		
			(外部評価)		
			地域の他グループホームのお芋掘りに招待いただき、交流された。又、運営推進会議にも相互で参加されている。さらに、市内の事業所が集まり、順番で各事業所を見学に戻っておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者と職員同士がお互いに話し合い、相談しあうことでストレスを解消している。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			個々の能力や性格を理解し、その人の力を十分に発揮できるように努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居者の方の生活歴や性格を把握し、その方にあったケアを心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 面会に来られた時に話を聞いたりしている。あまり面会に来られない家族には意見書を書いて郵送している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 他のサービス利用希望がまだない。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前に施設を見学に来てもらっている。 (外部評価) 入居前にはご本人を訪ね、お話を聞くようにされている。又、「帰りたい」と言われ、外を歩かれる利用者に職員は付き添ってられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 若い頃の話や聞いたり体験談などを聞いたりしている。 (外部評価) 職員は利用者から、料理のことや野菜の保存方法、戦争時、食べ物に苦労した時の話し等を教えていただくことがある。		利用者主体の生活を支援していくためにも、職員の利用者へのかかわり方について、さらに、工夫を重ねていかれてほしい。利用者個々の自信や意欲を引き出せるような場面作り等も期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の方がよく来所していただけるのでその都度、職員と共に日頃の様子等を話し情報を共有している。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 電話連絡をこまめにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入居者が家族に連絡をしてほしいと訴えあれば連絡している。会いたいと訴えあれば面会にきていただいている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者の性格を把握しいろいろな手伝いを協力してやってもらっている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 医療機関、家族と情報提供や話し合いが出来るよう連携をとっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>自分の意思表示ができる方には実現できる事は実施している。出来ない方には家族からの情報、日頃の言動から把握するように努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者の食べ物の好みや、個々の以前の暮らしぶり等を知っておられる。</p>		<p>さらに、日々、職員の利用者とのかかわりの中で知り得た情報を蓄積し、介護計画に反映されてほしい。又、利用者から情報を得られるような、引き出し方やかかわり方の工夫が期待される。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>事前調査によって本人、家族からできるだけ詳しく聞き、ケアプランに反映している。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人の日常生活を観察し、状況が明細かつ分かりやすく記録に残している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>サービス担当者会議を開き、入居者及び家族の意見を聞き入居者が安心して生活できるよう介護計画を立てている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>その日の日勤者と管理者でサービス担当者会議を行い、計画を立てておられる。</p>		<p>さらに事業所では、ご家族と相談しながら計画を立てられるようにしたいと考えておられた。ご家族からも具体的なご意見がいただけるような、働きかけの工夫を重ねていかれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			本人の生活状況の変化に対応し介護計画の見直しを3ヶ月ごとに行っている。その間に変化が生じた場合は、本人を含め家族に連絡を取り計画を作成している。		
			(外部評価)		
			3ヶ月毎と、状態変化時、介護計画を見直すようになってい		さらに、ご本人やご家族に計画の内容を確認いただき、計画を実践されたい。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個々の生活や健康面の状況を明確に記録し、その情報をミーティングで共有することによって介護計画に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			入居者の要望があれば、買い物に行ったり、併設のデイサービスでカラオケがあれば希望者は参加している。		
			(外部評価)		
			事業所内に、美容室のコーナーがあり、美容師の方が来られて利用者のカットをされている。又、毛染めをされる方は、美容室にお連れしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 避難訓練を年2回行い消防署と連携をとり支援している。併設のデイサービスにおいてボランティアの来所があれば参加している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 以前、介護タクシーを利用されていた方が退所されていて、利用していない。今後、機会があれば活用していきたい。		本人のニーズにおいて地域のサービスを利用して入居者の生活の質の高めていきたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 活用していきたいと思っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居者が以前から利用されている病院については受診してもらうようにしているが、家族が事業所に任せる場合は当所で提携している24時間体制で協力病院を活用し、2週間に1回往診にいられている。 (外部評価) ご本人ご家族が希望される病院を受診される際には、ご家族が付き添っておられる。ご家族の付き添いが難しい方は、納得の上、協力医の往診を受けるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に詳しい医師と常に連携をとり治療及び相談できるよう確保している。		認知症についての勉強会や専門の先生等の研修会を開催したい

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 内科医が週に2回往診に来られている、他にも外科医、歯科医ともいつでも相談出来る体制をとっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 相談員と情報交換に努めており連携している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居者の状態の変化時に、家族、主治医に相談しながらしている。 (外部評価) 現在、事業所では、最期まで事業所で支援することはむづかしいと考えておられる。入居時に、ご家族にその旨を伝えておられる。		ご家族の中には、事業所で最期までお願いしたいというような希望もあるようだ。重度化した場合や終末期のことについては、ご家族も心配なことでもあり、時々、話し合うような機会作り等も期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 検討中である。		今後、話し合いが必要である。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 退所時には家族等と十分に話し合い転居先へ情報交換を行う等ダメージ防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	(自己評価)		
			<p>一人ひとりのプライバシーを損ねるような事のないよう、声かけ対応に気をつけ心がけている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>職員は、利用者に対してやさしく接しておられた。時に、職員の声が大きく感じるような場面が見受けられた。</p>		<p>時に、ご家族等からケアサービスについて、ご意見をいただくような機会を作ってみてはどうだろうか。又、共用空間での個人名入りのファイルの扱い等についても、さらなる配慮が望まれる。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	(自己評価)		
			<p>入居者の方の意見等、気軽に言ってくるように日々、コミュニケーションをとるように努めている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>思うように過ごしていただけるよう職員もその都度、対応できている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	(自己評価)		
			<p>思うように過ごしていただけるよう職員もその都度、対応できている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>昼食時、ゆっくり居室から出て来られる方に職員は「急がなくてもいいよ」と声をかけておられた。職員は、食後に「コーヒー飲みませんか」と聞いておられた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 美容室と提携し希望がある時、来所してもらう。たまに、同行している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事介助に必要な入居者には、職員が付き添い支援を行い、全員で楽しく食事をしている。		もう少し、入居者と一緒に調理したりしていきたい。
			(外部評価) 職員が献立を立て、温かいものは温かくいただけるよう配慮されていた。季節の食材を使用し、しょうがやゆず、にんにく等を使って、おいしい食事作りの工夫をされていた。利用者は、配膳やテーブル拭きをされていた。メニューによっては肉を魚に替えることもある。		利用者の力を活かし、「食事を楽しむ」支援を工夫されてほしい。食事一連の流れの中で、利用者がかかわれるような場面を増やしていけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 入居者が望むおやつ等を把握して嫌いなものは形や品を変えて全員が楽しめるように支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握した上で、できる限りパンツを使用する支援を行っている。トイレ誘導をする際には、プライバシーに配慮して支援を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入居者の希望に応じてゆっくりと入浴ができるようにしている。拒否された場合、タイミングに合わせ、再度声かけをする。		
			(外部評価)		
			職員と「いい湯だな」を歌いながら、お風呂に入られる方がいる。入浴を嫌がられる方にも、職員は気長にお誘いし、支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの生活リズムを把握し、夜間安眠できるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			家族から入居者の生活歴等を聞き取り下膳、掃除、洗濯物干し、畳み等手伝ってもらい、日々の生活の中で喜びを感じ取ってもらうよう努めている。		
			(外部評価)		
			晩酌を楽しまれる方がいる。又、ラジオ体操をされたり、カラオケや歌を歌うことを楽しみにされている方もいる。居室に貼っていた自作の塗り絵を、中学生のボランティアの方にプレゼントされた方もいる。		さらに、利用者個々の生活歴や興味のあることを探り、事業所でも、利用者一人ひとりがその人らしい暮らしを続けていけるよう、職員で話し合ってみてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			できる方は、本人がもたれているが、出来ない方は、職場で預かっている。		買い物に行くなど（入居者の希望や本人の能力に応じた本人に金銭の管理をしての買い物）に取り組むたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			中庭での日光浴や散歩、ドライブの支援をしている。		
			(外部評価)		
			庭に椅子を置いておられ、日向ぼっこされる方もいる。お隣のデイサービスにカラオケを楽しみに行かれている。		さらに管理者は、月に一回は外出する機会を設けたいと考えておられる。日常的にも、ちょっと外に出て楽しめるような機会を増やしていかれてほしい。又、ご本人の行ってみたいところ等、ご家族とも相談し、支援されてはどうだろうか。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			地域の行事には、積極的に出かけ交流を図ったり、少人数で外食に出かける等の機会を作り実施している。		1対1でカフェ等にでかけ、コーヒー等をいただきゆっくりした時間を過ごして行きたいと思っている。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			入居者の希望により家族の方と電話で話ししてもらっている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族の訪問時には、暖かく迎え入居者の状況を伝えお茶を出し本人とゆっくり過ごしてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価) 理解して取り組みが出来ている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 昼間は施錠していない。外出傾向のある入居者は職員 が把握しており、同行している。 (外部評価) 玄関には鍵を掛けておられない。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) 日中職員は声かけ合い入居者の所在地、様子を把握し 安全の配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 現在、注意を要する物品の持参はないがお金に執着さ れている入居者には、少額の金額を自分で管理される ことであんしんされる。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの状態の把握に努めている。事故がおきな いよう、スタッフ間で連携を取るようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的には行っていない。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に、避難訓練を行っている。入居者が避難できる方法を身につけている。 (外部評価) 年に2回、消防署の協力を得て避難訓練を行っておられる。		さらに、今後は、地区の消防団の方にも、訓練の指導に来ていただくことを考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 体調の変化があれば、家族に連絡し、家族にも面会に来てもらい現状を知ってもらう。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日、バイタルチェックを実施しており体調の変化に速やかに対応できるようにしている。変化に気づけば申し送り等で情報を共有し、早期の対応に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 病院より薬の説明書をもらい、みんなが把握できるように、カードックスに挟んでいる。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維を多く含んだ食品を摂取していただくようにしている。牛乳、乳製品をおやつに出すようにしている。日中の活動量を多くするように努め、水分補給を心がけている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の口腔ケア、チェック表に記録して対応している。自力でうがいしたり、義歯を磨いてもらうことを促しながら出来ないところは介助しゆっくり関わりながら行うように心がけている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食材によっては刻みにしたり食べやすい大きさにする等しながら、個別に対応し食事量に配慮している。お茶を好まない方には、スポーツドリンク、野菜ジュース等で水分量を確保している。 (外部評価) しょうがを採り入れ食事作りに工夫されており、風邪予防にもなると職員は話しておられた。又、食事時、テーブルの上には小さなやかんにお茶が入っており、利用者がお茶をお代わりされていた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 職員全員が予防接種を受けている。手すり、手に触れるところは塩素系消毒する。手洗い、うがいをすする。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>布巾、台拭き等はこまめに取り替えるようにし、塩素で消毒、衛生管理に努めている。食事の魚・肉は、その日の朝、野菜は等は前日に安全な食事に対応している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関は季節感を出している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食堂には、花を飾り、壁には、季節の物を飾ったり展示している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、居間の壁面等の飾り付け等を考えておられる。調査訪問時には、クリスマスの装飾や利用者で作成し作品等がたくさん飾られていた。</p>		<p>利用者の「やすらぎの空間」作りという理念のもとに、利用者の年代を考慮した雰囲気、又、利用者にとって居心地の良い空間になっているかということについて、職員で点検されてみてほしい。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食堂にソファを置き、テレビをにてお話し等している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居者が以前から使用していたものをもって来られ使用している。		
			(外部評価)		
			居室には、それぞれ洗面台が設置されている。		2階居室の窓は、開けられる幅が制限されている。安全と制限について、利用者の自由な暮らしを支援するという点から話し合ってみてはどうだろうか。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			定期的窓を開けたり、温度調節をし入居者の方の状況に合わせて対応している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	(自己評価)		
			身の回りの環境整備に努めている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			入居者の方のできることはしていただき、出来ないところを介助していく。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			日光浴、散歩ができるような環境を作っている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	家族・入居者の会話の中
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	午前・午後のお茶の時間に一緒に会話を楽しんでいる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分のペース過ぎて頂くようにしている。天気の良い日には外気浴等している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	生活している中で、笑顔がたくさん見られ生き生きしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外に出かける時は職員と一緒に出ている。日光浴・散歩・ドライブ等行っている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日、排尿・排便の回数、バイタルチェックを行い、変化があれば24時間体制で往診に来てもらえる体制とっている。周囲の環境整備に努め安全に過ごしてもらえるように支援している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入浴や食事拒否などの時に無理強いせず、随時声かけし本人が気が向いた時にしてもらえるように対応している。不穏状態時はその都度、話を聞いたり等して対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	電話連絡をまめにとって、来訪された時に話しを聞き対応している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	地域の方の協力で芋掘りに出かけたり秋祭りには、地域の青年団が来られ獅子舞され入居者の方々も喜ばれる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	近くの保育所の訪問や、地域の盆踊りに参加、運動会の見学、秋祭りは青年団による獅子舞をされ、皆さん喜ばれた。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員同士のコミュニケーションもとれて協力し合っている。生き活きと働けている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来る限りの対応している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	何かあれば電話連絡をこまめに行っている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・職員が一丸となって入居者の方が日々明るく笑顔のある生活ができきるよう努めている。
 ・入居者の方のレベルが下がらないように自力で出来ることはしてもらい、自分で出来ることを増やしていつている。
 ・山のふもとにあり、立地環境がよく季節感を感じ日光浴、散歩が気持ちよく出来る。